

金城学院幼稚園

矢澤 正枝 教諭

中学時代から続けていたボランティア活動がきっかけで
「幼児教育の奥深さを知った」と話す矢澤先生。

縦割り保育で育まれる園児たちの健やかな成長を見守りながら
「何事も前向きな気持ちで、困難を乗り越える力を身につけてほしい」と願い、
日々明るく元気に園児たちの指導をしていらっしゃいます。



保育者として、ひとりの人間として
正直に前向きでありたいと願っています

矢澤正枝教諭 / 1990年金城学院短期大学部保育科卒業。同年から金城学院幼稚園の非常勤講師、1991年から同園の教諭となる。日本キリスト教団名古屋教会会員。

ボランティアと教育実習で 学んだことが仕事の基盤に

私は子どもの頃から人が大好きで、「将来は人と関わる仕事がしたい」とずっと考えていました。具体的に「小さい子どもたちと接する仕事がしたい」と思うようになったのは、中学生になって始めた児童館の子ども会ボランティアがきっかけです。小学1～6年生の子どもたちと一緒に遊んだり、お世話をするうちに「私も小さい頃はこんな風に考えていたんだ」と再発見することが多く、またそれが楽しくもあり、次第に「もっと小さい子どもたちの気持ちを知りたい」と思い幼稚園教諭をめざすようになったのです。

ボランティアは短大を卒業するまで続けました。保育の専門科目を学んだことで、「だからこんな行動をとるのだ」と子どもたちの気持ちをさらに深く理解できるようになり、ますます楽しくなりました。私にとってこの活動は今の仕事のベースとなる、とても貴重な体験だったと思います。

また金城学院幼稚園での教育実習で教えられたことも、ずっと心に刻まれています。それは「子どもは遊びの中で育ち、知恵をつけます。やがて学校や社会でさまざまな場面に出会った時、その時身につけた知恵が役に立つのです。保育者も保育の知識だけではなく、もっと自分自身を磨いて豊かな知識と心を持つことが大切。その人間性が保育に表れます」といわれた園長先生のお言葉です。この言葉を聞き、幼児教育はやりがいのある奥の深い仕事だと、あらためて実感しました。



キャンプボランティア

園児たちには常に正直に 年長児にはまとめ役を

幼稚園では日々、園児たちと一緒に楽しく過ごしながら指導にあたっています。その中で私が常に心がけているのは「園児たちの前ではいつも正直でいよう」ということです。こちらが悪いと思ったら素直にあやまること、また嬉しい時には園児たちと一緒に喜びを分かち合うこと。保育者であると同時にひとりの人間として園児と同じ目線で接していくことで、心が通じ合い、より深くわかりあえると思っています。

特に年長児に対しては、私に代わって徐々にクラスのまとめ役になってもらう、その時期を見極めることを大切にしています。金城学院幼稚園の特徴である「縦割り保育」では、年上児が年下児の面倒を見るということでお互いを思いやる気持ちが自然と身につきます。中でも年長児は秋を過ぎる頃になると急速に成長し、年下児の面倒を見るのはもちろんのこと、友達との交流も遊びも今まで以上に積極的になります。その時期が来たらクラスのまとめ役になってもらう。そうすることで、何かあった時もまず年長児が中心となって自分たちで意見を出し合いながら問題を解決する力が身につくのです。

こうした成長を日々見守りながら、「ここまでできるようになったから、次はこの段階まで」と常に子どもたちがステップアップできる場を提供していきたいとも考えています。

明るく前向きな気持ちで 困難を乗り越える力を

矢澤先生はどんな人!?

矢澤先生が担任されているクラスの保護者の方に、先生の印象を伺いました。すると「元気がよくて明るい先生」「パワフルで、いつも子どもと同じ目線で遊んでくれるので、子どもも喜んでいる」といつも元気いっぱいという声が多く聞かれました。また「とても頼りになる先生」「子どもを広い心で受け止めてくれるので、とても信頼している」など、保護者の方からの信頼も大変厚いことが伺えました。



私は昔から泳ぐことが大好きで、大人になってからはサーフィンも趣味になり、時々海に出かけています。海にいと自分の悩みが小さく思え、とても心が癒されて前向きで明るい気持ちになります。何事も前向きな気持ちで行えば、おのずかしい結果につながる人が多いものです。園児たちも、これからの人生においてさまざまな経験を積んでいきます。嬉しいこと、楽しいこともたくさんあるでしょうし、時には困難な場面に直面することもあるでしょう。そんな時にも常に自分自身でどうするかを考え、何事も前向きな気持ちで切り抜ける力を身につけてほしい。決してあきらめたりしないで一歩踏み出す勇気を持った人になってほしい。そう願ひ、園児たちにもいつも「笑って元気に行こうね」と話し、私自身も常にポジティブな気持ちでいようと心がけています。

また、変化を恐れずいろいろなことに挑戦していきたいとも思っています。四季折々に行われる幼稚園の行事や、そこに繋がる毎日が園児たちと一緒に楽しめるものとなるように、工夫を重ねていきたい。園児たちや保護者の方にとっても、そして私自身にとってもすばらしい思い出となるようなことをし続けていきたい、そう思っています。日々頑張っています。